

開かれた宗教センターをめざして

For Openness of the Religion Center

幼稚園

子どもの心に息づく礼拝

川島祥子

幼稚園 主事

幼稚園の日々は、「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」(テサロニケの信徒への手紙一5章16節～18節)の聖書のみことばを基に、神様の恵みと守りの中で、子どもたちが、豊かな自然に囲まれて、いろいろな人と生活をしながら感謝と喜びに満たされて織り成していく育ちの軌跡のタビストーリーです。

そのような心豊かな、一人ひとりの成長を支え、仲間とともにその子どもらしさが発揮され、神様からいただいている生きる力が引き出されるように援助していくことが保育の営みといえるでしょう。

生きる力とは、事をうまく運ぶことができるということではありません。葛藤や困難に出会ったとき、別の視点からの新しい意味や仲間と喜び合える道筋を見出せることであろうと、考えます。それは、生きた人間関係を経験するところ、つまり、子どもにとって生き活きた遊びの中でこそ経験できるものと思います。そのような経験ができるよう、保育者はていねいに子どもの心に寄り添って子どもにかかわっていきます。

生きる力、すなわち、希望のありかを見失わないうるということとは、いつも私たちともにいて決して変わることはない愛の神様との出会いなくしては、本当の意味で得られないことではないでしょうか。

神様に愛され、大切にされていると子どもたちが実感できるように、保育の土台として礼拝のときを大切にしています。主イエス・キリストに現わされた神様の愛を、新旧

約聖書から保育者が語っています。心で神様を受け止めた子どもの心は自由に神様に会っていきます。

そのことが現わされるのが、子どもたちの祈りです。ご紹介するのは、幼稚園が保護者のために発行した「青山学院幼稚園の保育」に記されている、子どもの祈りです。保育者が丹念に記録して이었습니다。

年少組の子どもの祈りです。「神様、明日は雨にならないように　曇りにならないように　風邪ひかないように　あとはお外が風がしゅーしゅーならないように　雷とかこないように　お休みの子もいないように　お守りください。」

年中組の子どもの祈りです。「天の神様、今日はたくさん遊べてありがとうございました。いつも守ってくれてありがとうございます。帰りを守ってください。」

年長組の子どもの祈りです。「天の神様、今日も神様にすばらしいお天気の日をいただきました。そしてみんなでいっぱい遊ぶことができました。ありがとうございます。今からお母さんたちが作ってくれたお弁当を食べます。神様に感謝していただくことができますようにお守りください。世界にはフィ

リピンのジャスティン君やノレンちゃんのようにご飯がたべられない人たちもいます。その人たちにもご飯が食べられるようにしてください。」どのお祈りもイエス様のお名前を通してささげられています。

こうして養われる、神様を信じていく心は、自然に遊びの生活にも現わされていきます。たとえば、十字架を真ん中にして、毎週日曜日出席することになっている「教会学校」のごっこ遊びがされたり、降誕劇がなされたりなど。

子どもから「何故イエス様は十字架にかかったの?」と質問してきたり、「何故イエスというお名前に決まっていたの?」と聞いてきたりもします。教え込むというのでなく、子どもの心に届くように保育者も礼拝のお話を準備してきます。保護者のためにも保護者会の一環として「聖書を学ぶ会」があります。

イースター、収穫感謝礼拝、クリスマスなどのときも幼稚園の大切な行事になっています。これらは神様の恵みを語る一年の大切な節目のときです。

こうして、子どもたちは友だち、保育者そして保護者の方々とともに神様から与えられたかけがえのない日々を過ごしていくのです。



幼稚園・初等部編

初等部

初等部のキリスト教活動

小澤淳一

初等部 宗教主任

礼拝を守ることから

初等部のキリスト教教育は、毎朝守られている礼拝を中心に行われています。どんなときでも必ず礼拝を守ります。宿泊行事のときにもそれぞれの場所で礼拝を守っています。礼拝を通して御言葉に触れ、日々を生きる価値基準を心に刻みます。毎日の礼拝は別表のように守られています。

みこたばを生きる 一他者に心を向けるこー

礼拝で神との関係を学ぶ児童は、日常生活において他者との関わりを学びます。特にキリスト教教育を中心に活動するのが、「宗教プロジェクト」というグループです。このプロジェクトは5・6年生有志20名前後で構成されています。主な活動は、毎日の礼拝の準備、月曜日の礼拝の司会をすること、祈祷会の準備などです。また、学外に目を向けるために次の活動



をしています。

第1に、チャイルド・ファンド・ジャパンを通して6名のチャイルドを支えています。そのチャイルドたちへの献金の集計、献金の呼びかけ、手紙の交流をしています。

第2に、日本キリスト教海外医療協力会の活動を支えるために「古切手」を集めています。最近では、初等部の卒業生の方々も多く協力してくださり、たくさんの古切手を協力会にお送りしています。

第3に、日本聾話学校との交流を行っています。毎月の献金をお献けするほかに、ベルマークを回収し、日本聾話学校へお送りしています。そのアピールと集計を行っています。

このようなプログラムから他者との関わりを学びつつ、みこたばを大切に生きる姿勢を学びます。

曜日	学年	場所	時間	司式	説教
月	1～6	礼拝堂	8:25～8:45	宗教プロジェクト	部長
火	1～2	礼拝堂	8:25～8:45	宗教主任	宗教主任
	3～6	礼拝堂	8:45～9:05	宗教主任	宗教主任
水	1～6	礼拝堂	8:25～8:45	宗教主任	
木	1～2	礼拝堂	8:25～8:45	宗教主任	信徒教員
	3～6	礼拝堂	8:45～9:05	宗教主任	信徒教員
金	1～6	各教室(フレビ礼拝)	8:25～8:45	宗教主任	宗教主任

シリーズ・私の教会

file 101

Tokyo Baptist Church

Hachiyamacho Shibuya-ku, Tokyo

日本バプテスト連盟

東京バプテスト教会

桐山 スミレ

本部総合企画部 事業推進調整プロジェクト 職員

「天国はきっとこんな場所なんだろうなあ」

教会の礼拝に参加すると、こんな風に思います。ケニアから来た留学生と一緒に心から神様に向かって賛美の歌を歌うとき、モンゴル語のお祈りを聞くと、この出合いをデザインしてくれた天の神様の素晴らしさに感動します。

現在私が通う東京バプテスト教会は世界50カ国以上の老若男女が集まるインターナショナルな教会です。毎週土曜日、日曜日に行われる計5回の礼拝に、約1300人が毎週出席しています。教会内は英語が共通語ですが、礼拝説教ではお話しと同時進行で日本語の字幕がスクリーンに

表示されます。また説教の日本語訳もお渡ししていますので、英語が苦手な方や英語を勉強したいと思っている方、どちらでもリラックスして参加してもらえます。何よりも、メインで説教されるデニス主任教師が、熱くユーモアたっぷりに神様の愛をストレートに伝えてくれるので、英語が分からなくても感動してしまいます。

礼拝のほかに、スモールグループという教員の家やレストランを使って、少数人の教会の仲間と一緒に聖書を讀んだり、近況を報告しあったり、お互いのために祈る時間を持ちます。規模の大きな教会でありつつも、一人一人をケアし合えるように意識してこの小さな単位の集まりを



〒150-0035 東京都渋谷区鉢山町9-2
電話: 03-3461-8425
ホームページ: http://www.tokyobaptist.org

地の塩、世の光

THE SALT OF THE EARTH, THE LIGHT OF THE WORLD / MAT.5-13

WESLEY HALL NEWS

101ST EDITION NOVEMBER 24-2009

ワズレイホールニュース第101号 2009年11月24日発行

言は肉となつて、わたしたちの間に宿られた。

ヨハネ 1:14

CHRISTIANBOOKS & CDs

シリーズ・キリスト教関連メディア紹介

J.S.バッハ作曲:クリスマス・オラトリオ

指揮:鈴木雅明 演奏:バッハ・コレギウム・ジャパン

浅井 美紀

高等部非常勤講師

先日、このページの原稿を依頼された時のこと。「参考までに」と手渡された初刊100号記念の「Wesley Hall News」をあらためて手にとりました。ちょうど真ん中に位置していた「表紙でつづる100号のあゆみ」のページには、私が見たことのある表紙もたくさんありました。懐かしい思いに浸りながら「さて何をご紹介しようかな…」と考えていた時、私自身が高等部生だった頃を、ふと思い出しました。

高等部生の時、私はオルガン部に所属していました。当時は、聖歌隊と3年生の選択音楽受講生、そしてハンドベル部とオルガン部によるクリスマスコンサートがPS講堂にて行われていました。その時に出会った作品が、J.S.バッハ作曲「クリスマス・オラトリオ」です。

今考えると「一体なんという大曲を演奏するチャンスが与えられていたのだろう…」とつくづく驚いてしまいました。緊張と不安に押しつぶされそうになりながらも、力を振り絞って取り組んだことを、今でも鮮明に覚えています。とても重要な通奏低音のパートに挑戦させて頂いたり、カタカナを楽譜にびっしり書き込んで、ドイツ語での合唱に熱をあげたりしていました。

この作品は、全体が6つの部分から成っています。第1部～第3部は降誕節の3日間(12/25～27)、第4部は新年(1/1)、第5部は新年最初の日



曜日の第6部は顕現節(1/6)のために作曲されました。初演も、このように何日間にもわたって行われたようです。

第1部から第6部まで聴くと、曲の長さももちろんですが、その音楽が持つ圧倒的な大きさと深さに、ただひたすら呆然…上手く表現できませんが、強いて一言で表すならば「おなかいっぱい!」といったところでしょうか…心の中は静かな感動と喜び、そして満足感に包まれます。

今回は、吉楽の分野で珠玉の輝きを放ち続けている鈴木雅明氏率

いる、バッハ・コレギウム・ジャパンの演奏によるCDをご紹介します。「クリスマス・オラトリオ」は数多くの演奏家によって録音が行われていますが、彼

編集後記

新しいワズレイホールニュース、いかがでしたか。感想をお聞かせください。右のQRコードからアンケートの画面に入れます。皆さんの貴重な意見を、今後の編集の参考にいたします。(編集者直)



Wesley Hall News 第101号

2009年11月24日発行

発行 青山学院宗教センター 学際宗教部長 嶋田順好
東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL.03-3409-6537(ダイヤルイン)

URL.http://www.aoyamagakuin.jp/center/index.html

E-mail.agcac@m.aoyama.ac.jp

編集 ウズレイホールニュース編集委員会

印刷 株式会社 万全社

幼稚園より

アドヴェント礼拝

11/27^金、12/4^金、11^金
イエス様をお迎えする心の準備をします。

保護者会クリスマス礼拝

12/10^木

クリスマス礼拝

12/16^水



始業礼拝

2010年1/8^金

卒園礼拝

3/5^金

(教諭 石橋エリ)

初等部より



アドヴェント・オルガン・コンサート

11/27^金 18:30～19:30
初等部米山記念礼拝堂

保護者のためのクリスマス礼拝

12/4^金 11:30～12:30

初等部米山記念礼拝堂

クリスマス讃美礼拝

12/19^土 15:30～17:00

青山学院講堂

卒業礼拝

2010年3/8^月 9:10～9:40

6年生を送る礼拝

3/12^金 8:25～8:55

(宗教主任 小澤淳一)

中等部より

クリスマス礼拝

12/17^木 14:00 ～ 15:30

青山学院講堂



伝道週間

2010年1/25^土～29^金

青山学院講堂
講師:宗野鏡子
(日本基督教団 田園江田教会牧師)

宗教講演会

1/26^水 6時限目

青山学院講堂
講師:森田哲也
(日本国際船舶対策機構
人づくし・海外プログラム
国際協力隊担当)

保護者聖書の会

1/27^水 水10:50～12:00

西大教室

卒業礼拝

3/15^月 8:40～

青山学院講堂

(宗教主任 西田恵一郎)

説教

愛という負担

互いに愛し合うことのほかは、だれに対しても借りがなくてはなりません。

ローマ人の信徒への手紙 第13章8節

借りたら返すわけだが

借りたお金や借りた本、CDやDVDは期限までに返さねばならない。このあたりをいい加減にしていると、信用はなくなる。相手にされなくなる。だから大方の人は、返す。期限までに借りたものをお返しして、社会生活をスムーズに行う。しかし「色々あったが、借りたものは全て返し、現在は無借金。わたしは人様に迷惑をかけていない」と、内心自負している人がいたとしたら、その見識は浅い。

道に迷った時、見知らぬ人が目的地を教えてくれた。その人とは、それ以来二度とあっていないし、これから再会したとしてもそれがかつて道を教えてくれたその人だとはわからない。この親切にどのようなお返しができるだろうか。お金がなかった学生時代、夕食をご馳走してくれた近所の人がいた。今、同じ献立の料理を近所の人に振舞ったとしても、それは返礼にはならない。肌えていた私の受けたあの時の料理の価値は、お金に換算することは出来ない。お金に換算できないものを頂いて、それを返済することなど不可能である。このお金に換算できない頂きもの、これが愛なのである。

愛するということ

愛とは全て返済不能。返済可能なものは、すでに愛ではない。それは取引なのである。無条件で、一方的に受けるばかりで、当人にお返しすることが不可能な代物が愛なのだ。大切なことは、そのような返済不能の愛によって、愛の借金まみれて、今生かされているという慎み深い自己理解なのであろう。その意味で、私たちは全て「人様に迷惑ばかりかけて生きている」存在、愛の負債者なのである。

だからと言って与えられた愛を強引に返済しようとすると、相手を傷つけることになりかねない。父親が愛する子どもに、入学祝として、時計を買ったしよう。子どもがすぐさまアルバイトをし、同価格のジャケットをすぐさま父親にプレゼントしたとする。父親の胸には、言いようのない空しさが宿るに違いない。なぜならそれは愛の拒絶を意味するから。愛は返礼を求めはしない。相手が「ありがとう」と言って喜んでくれることを願う。相手が喜んで時計を身につけてくれることで十分なのではないか。

「互いに愛し合うことのほかは、だれに対しても借りがなくてはなりません。」この言葉は、愛の借金額が雪だるまのように増えるけれど、その感覚が大事だよ、と教えてくれる。愛される時、しっかりとその愛を受け止め「ありがとう」と微笑みなさい、その対応こそが、相手に対する最大級の、真の返礼なのだと思えるようにも思える。



塩谷直也

大学宗教主任

愛するときの注意点

同時にこの言葉は、愛するときの注意点も教えてくれる。もしも、愛されることが借金を背負うことならば、逆に私たちが誰かを愛するとき、その人は私たちに借金を感じる、ということになる。つまり誰かを愛せば、その人は私に対し「負目」を感じるわけである。教会の牧師館に住んでいた時、生活に困った人々がしばしば訪れた。その中の幾人かに対しては、結構親身になって世話をした。ところがそういう人に限って、ある日突然私の前から姿を消す。「何と恩知らずな!」と当時は思っていた。しかし今振り返ると、違うな、と思う。彼らは、負担だったのではないだろうか。私のこれ見よがしの親切が、私の「愛」が重たくて、いたたまれなくなって消えてしまったのではないだろうか。そう、愛は時として負担なのである。パウロはコリント教会に対し「あなたがたを愛すれば愛するほど、わたしの方はますます愛されなくなるのでしょうか。」(IIコリント12章15節)と嘆いた。パウロが愛すれば愛するほど、コリント教会の人々は負担だったのか……。いや、愛するとは、厄介である。

この厄介さをよくご存じだったので、主イエスである。イエスは隣人を愛するときのコツを次のように述べる。「施しをするときは、右の手のすることは左の手に知らせてはならない。あなたの施しを人目につかせないためである。そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」(マタイ6章3～4節)

イエスは語る。「愛するときは、さりげなく、目立たないように、わからないように愛しなさい。愛は時として相手の負担となるからね。でも天の父は、あなたのさりげない愛をしっかりと見ておられるよ。」

クリスマス、神様は私たちにひとり子イエス・キリストをプレゼントしてくださいました。それは実にさりげなく、目立たない、なかなかわからないプレゼント。けれどコツを押さえた、見事な神の愛の表現でもある。



ヨセフとマリアの信仰に学ぶ

Learning About the Faith of Joseph and Mary

高砂民宣

大学宗教主任

ある年のアドヴェントのこと。私は一人の小学生が描いた絵を眺めていた。その絵には、馬小屋の中で、たった今生まれたばかりの幼子イエスを抱き、ニコニコと微笑むヨセフとマリア夫婦が描かれていた。見ている個も思わず微笑みたくなるような絵であった。すると、先輩の牧師が横から覗き込み、「子供の絵だねー。ほら、ヨセフがこんなにニコニコしているよ!」と言われた。私はその言葉を聞いてから、ヨセフの気持ちをそれまでになじつくりと考えるようになった。そしてキリストの誕生を描いた聖画を幾つか見てみた。確かに、どの絵を見ても、ヨセフは不機嫌そうな顔で描かれている。例えば、私たちがよく知っている絵に、ジオットというイタリアの画家が描いた「キリスト降誕」というものがある。その絵を注意深く見ると、マリアとヨセフの顔が非常に対照的であることに気付かされる。マリアは出産後間もないにもかかわらず、濃々しいとも言える表情で、布に包まっている幼子イエスを見つめている。それとは対照的に、ヨセフは何とも訝えない表情をしている。これについては意見がいろいろと分かれるようである。解釈の中の一つに、生まれた子供イエスの父親について思い悩んでいる、というものがある。興味深い解釈である。聖書にはヨセフが、天使の命令どおりにマリアを妻として迎えたこととある(マタイによる福音書1:24)。しかしそこに至るまでには、言い尽くすことのできないヨセフの苦悩と迷いがあったこ

とを忘れてはならないと思う。

以前、あるキリスト教主義の中学校で、非常勤講師として聖書科の教鞭を執っていた。クリスマスを前にした2学期の期末試験に、「イエス・キリストの誕生にまつわる出来事を書きなさい」という記述式の問題を出したことがある。生徒たちは問題に真摯に取り組み、しっかりと答えていた。主イエスの母マリアはヨセフと一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになる。いいなずけのヨセフは正しい人であったので、「マリアのこの表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した」と聖書には記されている(マタイ1:19)。そこをある生徒は読み間違えたのであろうか。「ヨセフはマリアを問い詰めた」と書いていた。採点しながら噴き出してしまったものの、自分かもしもヨセフであったならば、おそらくそうしたに違いないと思った。さんざん罵ったあげく、離婚届を叩き付けることにまで発展するかも知れない。そして考えてみると、御子イエスの誕生には、ヨセフとマリアという夫婦の信頼・純愛があったと言える。他の生徒の答えには、次のようにも書かれていた。「マリアはヨセフという優しい人と一緒に、本当に幸せであったと思いました」。確かに、天使から受胎告知を受けた時、マリア自身が仰天したことだろう。しかし彼女はそれを神のご計画と信じ、受け入れた。もしも伴侶となるヨセフがそのことを受け入れなかったならば、彼女の一生は、何と苦しいものであったことか。夫婦とは、共に同じ思いをもって歩む「二人三脚」である。そのように、主イエスの誕生は、神によって為された大いなる奇跡であると共に、その神の偉大なご計画を信じて従った夫婦の信仰があったことを、私たちは忘れてはならないと思う。



エルニーニョ

El Niño

廣田道夫

女子短期大学家政学科

待降節の始まる頃は、二十四節気では小雪の頃です。立冬の後は、小雪、大雪、冬至、小寒、大寒と続き、立春となります。という訳で、待降節の期間中に雪が降ってもよいのですが、東京ではこの頃ほとんど降りません。

世界の平均気温は、1891年の統計開始から2008年まで、100年につき0.7℃の割合で上昇しています。同じ期間、日本では、ほぼ1.1℃/100年の割合で上昇していますが、1931年以降のデータで見てみますと1.5℃/100年となります。同じ期間、東京の平均気温は3.3℃/100年と2倍以上の上昇率を示していますが、1月の上昇率が4.8℃/100年、8月は1.6℃/100年で、夏よりも冬の方が気温上昇が大きくなっています。1950年代に年間約40日あった冬日(日最低気温が0℃未満の日)が1990年以降は年数日しかありません。クリスマス当日の降雪も25年間記録されていません。東京のような大都市の大気な気温上昇は、全球的な地球温暖化に、ローカルなヒートアイランド効果が重なったものと考えられます。

ところで、地球温暖化とは別に、数年毎に日本に暖冬をもたらすものに「エルニーニョ(El Niño)」があります。Niñoはスペイン語で「男の子」のこと。定冠詞Elとともに大文字で書いて「神の子キリスト」を意味します。南米のエクアドル、ペルー沿岸は、北向きに流れる寒流・フロンル海流に沿って栄養分に富む下層水が湧昇

してくるため、世界でも有数な漁場になっていますが、この流れは年に一度雨季の始まるクリスマスの頃に弱まり、南向きの暖かい海流が現れます。流れが南向きになると体漁期で、この海流をペルーの漁民たちはクリスマスの贈り物とみて、エルニーニョと呼んだそうです。

しかし、この暖流が数年に一度、長期間大規模に現れることがあります。その時は元々乾燥しているこの地域は異常な大雨・洪水に見舞われ、また漁獲は激減します。この現象は赤道東太平洋の広域にわたる海面水温の上昇に伴うもので、大気の側では東よりの貿易風の弱まりに対応しますが、赤道域のみならず全球の大気循環に影響し異常気象をもたらします。現在ではエルニーニョとはこの現象を指すことが多く、元のものと同別して「エルニーニョ現象」とも呼ばれます。エルニーニョ現象が発生すると、日本では暖冬、冷夏になりやすいとされています。今年は何年ぶりに発生しましたが、夏の遅い梅雨明けもこれが一因とされています。この原稿を書いている頃は、冬まで持続すると予想されていますので、今年もホワイトクリスマスの可能性は小さいようです。

なお、エルニーニョとは反対に、赤道東太平洋の海面水温が数カ月わたって低下する現象を、最近ではラニーニャ(La Nina)と呼びます。こちらは単に「女の子」を意味します。



写真:エルニーニョ(セブ(フィリピン)のカトリック教会のお守り)

特集 クリスマス

Special Issue Christmas

クリスマス、アドヴェントに寄せる思いを、各部の方に聞きました。



大学クリスマス礼拝



高専部クリスマスコンサート



女子短大クリスマス礼拝でのダンス部

本当のプレゼント

True Gift



林 美里

高等部 HR307

もうすぐクリスマスです。さて、クリスマスの楽しみとは何でしょうか。イルミネーション、プレゼント、クリスマス・ツリーなどたくさんあります。その中で私が毎年楽しみにしているのは、プレゼント交換をすることです。中でも一番思い出に残っているのが、中学3年生の時にやったシークレット・サンタというもので、くじの中から名前を引き、その引いた名前の人に知られないように5日間毎日プレゼントをロッカーに入れておくというものでした。もちろん、毎日の時間帯に自分のロッカーにプレゼントが入っているのか分からないので、ロッカーを開ける度にドキドキしていました。

このプレゼント交換というのは、名前に交換という言葉がある通り、参加している友達と自分がプレゼントを用意することによって成り立っています。しかし、このような交換条件なしに、無料で人生の希望をあげよう、と目に見えない人から言われたらどう反応しますか。そして、その人が十字架にかかって自分の罪の全てを償ってくださったことも知ったら、どう思いますか。現在、すべての物はお金を払わないと手に入らない中、唯一、神様の救いは無料なのです。この事はいつになっても変わらない事実なのです。

クリスマスについて

Thinking About Christmas



高橋 玲音

中等部一年 E組26番

ほくにとってクリスマスは、「第二の誕生日」です。家族みんなそろってケーキを作って食べ、プレゼントをもらってコミュニケーションをとる貴重な時間です。ほくは小学五年生の頃からクリスマスはバレンタインデーのようにおもちゃ屋の販売戦略だと思っていました。クリスマスはおもちゃ屋がつくった記念日だと勝手に決めつけ、おもちゃ屋の悪態にはまっていたのかと少しショックを受けていたのです。

そして小学六年生の頃、ついにクリスマスの本当の意味をテレビで知りました。これ聞いたほくは、学校のみんなに半分自慢のつもりで「クリスマスなどだったら誰もが欲しいと思うでしょう。でも、神様からの愛だったら皆さんはどのように受け取りますか。家や街中の装飾を見るときにクリスマスの本当の意味を思い出してみてください。クリスマスツリーの上にある星を見るときに、イエス様が生まれたということ。ジングル・ベルが聞こえてくるとき、それはイエス様の誕生を知らせるためにあるということ。キャンディ・ケーンを食べるとき、それは、イエス様が私達の人生を堅く守ってくださる救い主であることを。

るほどと思いました。と、いうことは世界には「第二の誕生日」であるクリスマスを知らない人もいのかと考えました。クリスマスという、とてもすばらしい日を知らない人がいる中で、自分はとても幸せな人間なんだと感じました。そして毎日、毎日、大きな恵みを与えられていることをイエス・キリストに感謝しなければならぬ、と思いました。ぜひとも一人でも多くの人々におもちゃ屋の戦略ではないクリスマスの本当の楽しさを味わってほしいです。

青山学院はキリスト教の学校です。ほくは、十二月に行われるクリスマス礼拝を写真でしか見たことがありません。生徒がそれぞれの役になりきってやる劇や、ローソクで大きな十字架を作っている写真は神聖でおごきな、優しいような一体感を感じました。ほくは、実際のキリスト教のクリスマス礼拝は一回も体験したことはありません。ですから少し不安なこともありますが、とても楽しみです。そして、このクリスマス礼拝をより楽しく、また心に残る強いメッセージのある礼拝としていきたいと思っています。

このように、青山学院には、とてもよい伝統が今も引き継がれています。ほくたちはそれをさらに良くて、次の世代に引き継いでいきたいです。



Shine a light. Warm a heart.

宗教センターだより

高等部より

クリスマス礼拝

12/18金 PS講堂

第一部 礼拝
説教:清弘剛生(頌栄教会牧師)
聖歌隊:ハンドベル部による賛美演奏
第二部 クリスマス祝会
山口アザマス・ロンドのクリスマス特別演奏とメッセジ

クリスマス合同コンサート

12/19土 16:00~19:00

カウチャー記念礼拝堂

聖歌隊:オルガン部、ハンドベル部

(宗教主任:坂上三男)

クリスマス礼拝

12/9水 13:00~14:30

青山学院講堂

説教:ロバート・タヒオン(元本学院宣教師)

クリスマス・チャリティ・チャペルコンサート

12/16水 18:00~19:00

女子短期大学礼拝堂

聖歌隊:ハンドベル・クワイア・コスプレ

天城冬の集い

2010年2/2火 4木

天城山荘

特別講師:安積力也(基督教独立学園高校 校長)

(宗教活動委員:小林瑞乃)

大学より

ランチタイム・コンサート

12/1火 12:35~13:05

ウェスレー・チャペル

演奏:羽柴真樹(大学オルガニスト)

クリスマス礼拝

12/15火 18:00~

カウチャー記念礼拝堂

説教:吉村和雄(キリスト品川教会 牧師)

12/17木 17:50~

ウェスレー・チャペル

説教:東方敬信(大学宗教主任)

オルガニスト養成講座

受講生発表会

12/21月 ウェスレー・チャペル

2010年2/2火 カウチャー記念礼拝堂

オーストラリア・

クリスマスファミリー

ホームステイ・プログラム

2/12金 3/6土

クリスマス家庭に滞在し、現地で英語研修、ボランティア…キリスト教や異文化の体験します。

(宗教センター事務局 尾崎誠)

本部より

クリスマス・ツリー点火祭

~降誕を待ち望む礼拝

11/27金 相模原 16:30

青山 17:20

Art クリスマス Aoyama

11/25水 12/18金

短大ギャラリー他

クリスマステーマとした絵画展



教職員新年礼拝

2010年1/6水

14:00~14:45

カウチャー記念礼拝堂

(宗教センター事務局 尾崎誠)